

# 消 防 の 沿 革

年	ポンプ車の変遷	美 幌 町	津 別 町
大 2	腕 用 ポ ン プ 消 火 器 具 代 時	私設消防組誕生（7. 2 9）	
3		公認許可（6. 1 0） 公設消防組発足（8. 1）	
4		美幌村設置（4. 1）	火防組合設立
5		蒸気ポンプ（馬引）購入	私設消防組誕生
8		蒸気ポンプ（馬引）購入	美幌村より分村、津別村設置（4. 1）
9			公設津別消防組に改組（6. 1 5）
1 2	ガ ソ リ ン 蒸 気 ポ ン プ 時 代	ガソリンポンプ（馬引） 2台購入	
1 5			私設本岐消防組誕生（1 0. 9）
昭 2			公設本岐消防組
3		ガソリンポンプ（馬引）購入	私設活汲消防組誕生（4. 5）
5			公設相生消防組
8		ポンプ自動車購入（4月） （常備運転員配置1名）	津別消防組に金馬簾下賜 消防番屋新設 124. 6 m <sup>2</sup>
1 1		ポンプ自動車購入（7月） （常備運転員配置1名）	
1 2	ポ ン プ 自 動 車 代 時	北海道長官より金馬簾授与（5. 8）	V 8 フォード普通ポンプ自動車購入 公設活汲消防組
1 4		美幌警防団に改組（4. 1）	各消防組を統合し警防団に改組（4. 1）
1 7		ポンプ自動車購入（常備運転員配置） 警防団本部庁舎完成（西1北2）（9月）	
1 8		常備部設置（1 2. 1） 常備部長以下1 3名	女子警防団組織誕生
2 0		ポンプ自動車購入（8. 2 0）（S 1 7年製）	
2 1			町制施行（9. 1 0）
2 2		美幌町消防団に改組（5. 1）	消防団に改組
2 3		消防組織法の施行 昭和2 3年3月7日	「自治体消防発足」
		町制施行（4. 1）	
2 4		消防本部・署設置（7. 5） 消防法に基づく業務開始（7. 9）	消防本部設置（9. 2 9） 水槽付ポンプ自動車購入
2 5		ポ ン プ 自 動 車 タ ン ク 自 動 車 代 時	水槽付ポンプ自動車購入（9月）
2 7	北見地方支部連合演習（7. 8） 水槽付ポンプ自動車購入（9月）		タンク車購入
2 8	日消より竿頭授受賞（2. 6） 消防庁舎竣工移転（西1北4）（1 2. 1）		小型動力ポンプ購入
3 0	日消より竿頭授受賞（2. 1 1） 新町分遣所庁舎新築完成（9. 3 0）		双葉監視所設置 消防無線機設置
3 1	ポンプ自動車購入（7. 1 6）		
3 2	北見地方支部消防連合演習举行（9. 6）		タンク車購入 消防庁舎新築

年	ポンプ車の変遷	美 幌 町	津 別 町
33	ポンプ自動車 タンク自動車 時 代	BFCより表彰旗受賞(国消)(4.26)	小型動力ポンプ購入
35		広報宣伝車購入(8月)	
36		網走信用金庫よりポンプ自動車寄贈 (9.16)	
38		日消より表彰旗(2.6) ポンプ自動車購入(10.26)	小型動力ポンプ購入
39		消防本部・署設置政令指定(2.1)	
40		北見地方支部消防連合挙行(7.11)(美幌町) 美幌地区危険物安全協会発令式開催(美幌町・津別町・女満別町)(11.29)	
41		広報宣伝車購入(10.11) 消防無線機設置	ポンプ自動車購入 日消より竿頭授受賞
42			超短波無線機設置 北海道知事より竿頭授受賞
43		水槽付ポンプ自動車購入(10.3)	北見信用金庫より準化学車寄贈
44		損保協会よりポンプ自動車寄贈(6.3) 全道消防署長会議開催(8.22)	広報車購入 小型無線機購入 北海道知事より表彰旗受章 小型ポンプ自動車購入
45		水槽付ポンプ自動車購入(9.1)	損保協会よりポンプ自動車寄贈
46		三共後藤建設(株)より救急車寄贈(3.30) 救急業務開始(5.20) 自治省令により救急業務政令指定(6.1)	救急業務開始(任意) 林野火災工作車購入(ウニモグ) 超短波無線購入 小型動力ポンプ購入

年	月	消 防 本 部	美 幌 町 (署・団)	津 別 町 (署・団)
昭46		組合消防の沿革 美幌・津別消防事務組合（10月11日知事の認可）12月1日発足 構成町：美幌町・津別町		
	10	組合議員構成 美幌町5名・津別町5名 職員1名	美幌・津別消防事務組合 美幌消防署・美幌消防団となる 職員30名・団員82名	美幌・津別消防事務組合 津別消防署・津別消防団となる 職員12名・団員174名
	12	業務開始（12月1日）	業務開始（12月1日）	業務開始（12月1日）
47	4	北見地区消防組合留辺蘂町・網走地区消防組合・釧路西部消防組合（阿寒町）との消防相互応援協定施行		
	4	職員2名（1名増員）	職員31名（2名採用） 北見分会連合消防演習挙行（7.2）	政令指定を受けて津別消防署発足 定員25名（4.1） 救急業務政令指定
	10		ポンプ自動車更新（消防団） （10.10）	津別消防庁舎落成 995.561 m <sup>2</sup>
48	3			津別消防署位置の改正 「津別町字幸町41番地」を 「津別町字新町1番地」に
	4	職員3名（1名増員）	職員32名（2名採用）	職員16名（3名採用）
	8		美幌ライオンズクラブより 司令車寄贈（8.30）	
49	4		職員34名（2名採用）	職員18名（2名採用）
	9	消防本部設置位置の改正 「美幌町字西1条北4丁目1番地」を「美幌町字栄町1丁目4番地」に（9.20）	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型購入（消防団）（9.5） 美幌消防署設置位置の改正 「美幌町字西1条北4丁目1番地」を「美幌町字栄町1丁目4番地」に（9.20）	
	10	消防本部・美幌消防署庁舎落成 1,591.396 m <sup>2</sup> 落成式（10.15）		
	11			水槽付消防自動車購入 2台 （消防署・消防団）
50	3			国安木材よりタンク車寄贈 （消防団）
	4	消防本部組織改正（4.1） 2課制実施（庶務課・消防課） 職員5名 釧路西部消防組合と消防相互 応援協定締結（4.1）	消防署組織改正（4.1） 次長制実施 職員34名（2名採用）	消防署組織改正 職員20名（3名採用）
	9		美幌・津別・女満別三町連合消 防演習挙行（9.14）	
51	2		網走信用金庫より司令車寄贈（消防署） （2.3）	

年	月	消 防 本 部	美 幌 町 (署・団)	津 別 町 (署・団)
昭51	4		職員35名(2名採用)	次長制実施 職員22名(3名採用)
	10		消防ポンプ自動車購入(消防団) (10.20) 損保協会より救急車贈与(消防署) (10.29)	本岐分遣所開設
	12			佐藤林業より指令車寄贈(消防署)
52	4	職員6名(1名増員)	職員36名(2名採用)	職員24名(3名採用)
	10			美幌・津別・女満別三町連合演習実施
53	4		職員38名(3名採用)	活汲(第2分団)詰所業務開始
	6			北見地方分会連合演習実施
	7			小型動力ポンプ購入(消防団)
	9		美幌・津別・女満別三町連合演習実施 (9.23)	
	10		消防ポンプ自動車購入(消防団) (10.23)	水槽付消防ポンプ自動車購入(消防署)
	11		小型動力ポンプ購入(消防団)(11.9)	
54	4	職員7名(1名増員)	職員39名(3名採用)	消防団定数改正 「174名」を「150名」に
	6		北見地方分会連合消防演習実施(6.24)	
55	4		職員41名(2名採用) 釧路北部消防事務組合と救急業務相互応援協定締結(4.1)	職員25名(1名採用)
	9		小型動力ポンプ付水槽車購入(消防署) (9.18) 美幌町婦人防火クラブ設立(9.20)	津別町少年消防クラブ設立 美幌・津別・女満別三町連合演習実施
56	1			消防バス購入
	4		職員42名(4名採用)	職員24名(1名採用)
	7		北海生コンクリート工業㈱より広報 指導車寄贈(消防署)(7.4) 北海道消防操法訓練大会出場 (消防団)ポンプ車の部(7.29)	
	10		美幌・津別・女満別三町連合演習実施 (10.11)	
57	2		(株)漆原タイヤ商会より救急車(2B 型)寄贈(消防署)(2.16)	
	4		職員43名(2名採用)	
	8			職員24名(2名採用)
	10		小型動力ポンプ積載車購入(消防署) (10.15)	
58	4		職員44名(3名採用)	
	7			北海道消防操法訓練大会出場 (消防団)小型動力ポンプの部
	8			消防ポンプ自動車購入(消防団)

年	月	消 防 本 部	美 幌 町 (署・団)	津 別 町 (署・団)
昭58	11		水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型購入 (消防署) (11. 11)	
59	4		職員45名(2名採用) 岡本団長網走地方支部北見分会長に 就任(4. 17) 岡本団長網走地方支部副会長に就任 (4. 27)	
	5		中川寿清氏より広報車寄贈(消防署) (5. 4)	指令車購入(消防署)
	6			北見地方分会連合消防演習実施
60	4		職員46名(4名採用)	
	6	危険物安全協会創立20周年 式典	危険物安全協会より単車贈与(6. 10) 北見地方分会連合消防演習実施 (6. 30)	危険物安全協会より単車贈与
	8			消防ポンプ自動車購入(消防団)
	12		消防署第2車庫落成(12. 16)	
61	4		職員47名(1名採用)	
	10		日本損害保険協会より水槽付消防ポ ンプ自動車Ⅰ-A型寄贈(10. 1) 梯子付消防ポンプ自動車(14m級) 購入(10. 15)	
62	3			日本損害保険協会より救急車2 B型寄贈
62	4		美幌町開基100年仮装防火パ レード実施(4. 19)	
	7		網走支庁管内水防工法訓練実施 (7. 30)	
昭63	8	池北三町行政事務組合・釧路北部 消防事務組合と消防相互応援協 定締結(8. 1)		
平 元	1	昭和から平成に元号改正(1月7日)		
	5			職員3名津別町へ出向
2	3		美幌防火協会創立40周年式典 (3. 11)	第3次津別町総合計画策定(津 別町消防計画)津別町議会議決
	8		救急車(2B型)購入(消防署) (8. 9)	
	9		婦人防火クラブ創立10周年記念 式典(9. 18)	有線遠隔サイレン吹鳴装置完工
	10			消防団定数改正 「150名」を「130名」に
	12			消防ポンプ自動車購入(消防団)
3	2	北海道広域消防相互応援協定 締結(2月13日)		
	3	全ての消防相互応援協定を廃 止(3月31日)		

年	月	消 防 本 部	美 幌 町 (署・団)	津 別 町 (署・団)
平3	美幌・津別広域事務組合に名称変更（4月1日）			
	4	組合議員構成 美幌町6名・津別町6名 北海道広域消防相互応援協定 施行（4月1日）		
	10		機構改革 次長廃止（10.7） 2課制とする（警防課・管理課）	
	11		宮崎義治氏より放送設備一式寄贈 （11.25）	
4	6			北見分会連合演習実施
	7		救助資機材（ルーカス）購入（7.27）	
	9			広報車購入
5	3		消防緊急通信指令施設導入（3.9）	
	6		北見分会連合演習実施（6.27）	
	7			女性消防団員採用6名
	8			機構改革3係制とする
	9		美幌ライオンズクラブより司令車 寄贈（9.25）	
	11		自治体消防45周年記念大会「ひま ろスターダストカーニバル」の特別 出演（東京ドーム）（11.18） 美幌防火協会よりCPR訓練用資機 材一式寄贈（11.27）	
6	4		消防団定数改正（4.1） 「82名」を「92名」に	
	6		女性消防団員採用10名（6.16）	
	7	応急手当指導員認定書交付（7.1） 美幌消防署 10名 津別消防署 6名 北海道広域消防相互応援協定の 改正締結（7月25日）		
	8	北海道広域消防相互応援協定の 改正施行（8月1日）		女性消防団員採用1名
7	2		消防ポンプ自動車CD-1型購入 （消防団）（2.28）	
	3		北海生コンクリート工業㈱より広 報車寄贈（3.27）	日本損害保険協会より水槽付ポ ンプ自動車寄贈（消防団）
	4	緊急消防援助隊編成 火災啓蒙用ビデオプロジェク ター一式購入		
	5			女性消防団員採用3名
	6	危険物安全協会創立30周年 式典（6.2）	危険物安全協会よりCPR実習用 資機材一式寄贈（6.2）	危険物安全協会よりCPR実習 用資機材一式寄贈

年	月	消 防 本 部	美 幌 町 (署・団)	津 別 町 (署・団)
平 7	7		小型動力ポンプ購入 (關籠号積載用) (7. 20)	
	8		空気充填庫設置 (8. 7)	
	10		朝鳥光代より100万円寄附 (10. 17)	
	11		美幌町防火管理連絡協議会30周年記念式典 (11. 10)	
8	1		朝鳥光代氏の寄附金等で乗用車 (消防バン) 購入 (1. 6)	丸玉産業(株)火災 2,249 m <sup>2</sup> 焼失
	2			水槽付ポンプ自動車水II型購入 (消防団)
	4		職員1名採用 高杉政明氏よりミニ臼・杵寄贈 (4. 21)	職員1名採用
	6		第一防災(株)より自動火災報知設備 パネル模型寄贈 (6. 4) 美幌町防火管理連絡協議会より煙 発生装置寄贈 (6. 18)	小型動力消防ポンプ購入 (2台) 救助資機材 (ルーカス) 購入
	11		消防ポンプ自動車CD-I型購入 (消防団) (11. 12)	
9	3		高規格救急自動車購入 (札消型) (3. 4)	
	6			指令車 (救急予備車) 購入
	10		美幌町開基110年式典 (10. 12)	
	11			林野火災工作車 (ウニモグ) 購入 (消防署)
10	1	津別消防署から消防本部へ人事 異動実施 (1. 1)		職員1名採用 (救急救命士)
	3	自治体消防発足50周年記念式典 (日本武道館) (3. 7)		
	4			消防団本団機構改革 本部付部長廃止 副団長2名・分団長制実施
	8		救急救命士業務開始 (8. 1)	
	10		消防ポンプ自動車CD-I型購入 (消防団) (10. 12)	高規格救急自動車購入 女性消防団員採用 1名
	11		八十島寛治氏より50万円寄附 (11. 18)	本岐分団詰所落成
11	4			救急救命士業務開始
	5		朝鳥純一氏より100万円寄附 (5. 31)	
	6		職員1採用 (救急救命士)	北見分会連合消防演習実施 阿寒木材(株)火災 1,649 m <sup>2</sup> 焼失
	8		朝鳥純一氏の寄付金で広報車 購入 (8. 27)	

年	月	消 防 本 部	美 幌 町 (署・団)	津 別 町 (署・団)
平 1 1	9	女満別空港周辺消火救難活動に関する協定締結 (9. 1)		
	1 1			消防ポンプ自動車CD-I型購入 (消防団)
1 2	2	女満別空港緊急計画連絡協議会発足 (2. 24)		
	5		防火協会創立50周年 (5. 14)	
	6		職員2名採用 (救急救命士)	
	7			小型動力ポンプ購入 (消防団)
	8		緊急通報システム運用開始 (8. 1)	
	9		婦人防火クラブ創立20周年式典 (9. 20)	
	10		全国共済農業協同組合連合会北海道支部より救急車 (2B型) 寄贈 (10. 10)	
	1 1			消防バス購入
1 3	1		美幌町職員普通救命講習実施	
	3	組合議員構成 美幌町4名・津別町4名		
	4		機構改革5課制 (4. 1) 4分団制に改組 (消防団) (4. 1) 北海道消防学校へ職員派遣 (1名) (4. 1) 美幌町への職員研修派遣 (1名) (4. 1) 元副団長竹山弘實氏よりスチール書庫 (3台) 寄贈 (4. 2) 元防火協会副会長高橋栄孝氏よりスチール書庫 (1台) 寄贈 (4. 18)	
	6		オホーツク水防公開演習訓練参加 (航空公園にて開催) (6. 16)	オホーツク水防公開演習参加
	7		北見分会連合消防演習実施 (7. 1)	
	1 2		消防ポンプ自動車CD-II型購入 (消防団) (12. 10) 岡田宏将氏より10万円寄附 (12. 12)	
1 4	1	救急振興財団より CPR 訓練用シュミレーター (成人・乳幼児用) 寄贈 (1. 15)		
	2	総務省消防庁よりテロ対策用防毒マスク (6ヶ) 貸与		



年	月	消 防 本 部	美 幌 町 (署・団)	津 別 町 (署・団)
平 1 4	3		生化学防護服2着購入 (3. 22) 北海道消防学校派遣職員 (1名) 及び美幌町への研修派遣職員の復帰 (3. 31)	
	4		機構改革3課制施行 (実施) (4. 1)	
	6	北海道広域消防相互応援協定の改正締結 (6. 25)		
	7	北海道広域消防相互応援協定の改正施行 (7. 1)		広報車購入
	9		職員1名採用 第1回防災リーダー研修実施 (59名) (9. 1)	
	11	網走地方道路連絡協議会設立 (11. 9)		
	12			水槽付消防ポンプ自動車水II型購入 (消防署)
1 5	4		火災多発非常事態宣言 (4. 18)	
	7		北海道消防操法訓練大会出場 (消防団) ポンプ車の部準優勝 (7. 24)	北海道消防操法訓練大会出場 (消防団) ポンプ車の部
	8		当直隊3部制施行 (実施)	
	11		宮崎ユキ子氏より消防防災活動用広報車寄附 (11. 19)	
	12		新町サイレン塔を稲美に移設 南町サイレン塔を南5丁目に移設 庁舎サイレン吹鳴力増強 (5.5kW→7.5kW) (12. 15)	充電式油圧救助器具購入
1 6	4		消防団組織改革 団本部設置 (本部長・副本部長) (4. 1)	
1 7	4		田中医院理事長よりAED (自動体外式除細動器)を寄贈 (3. 29)	
	7		防火協会進藤会長より水難救助ボート (紅屋号) を寄贈 (7. 11)	
1 8	4		職員2名採用 (内1名救急救命士)	
	6			北見分会連合消防演習実施
	10			自動体外式除細動器購入 消防ポンプ自動車CD-I型購入 (消防団)
1 9	2		水槽付消防ポンプ自動車II型購入 (消防署) (1. 30)	
	3		消防庁長官より竿頭授受賞 (3. 2)	
	5			救急救命士1名採用
	6		北見分会連合消防演習実施 (6. 17)	
	7			小型動力ポンプ購入 (消防団)

年	月	消 防 本 部	美 幌 町 (署・団)	津 別 町 (署・団)	
平19	8			消防自動車(10t 水槽積載用シャーシ) 購入(消防団)	
20	3			消防庁長官より竿頭授受賞	
	4	機構改革(4. 1) グループ制施行(実施)	救急救命士1名採用 グループ制施行(実施) (4. 1)	救急救命士1名採用	
	5		救急救命士1名採用	救急救命士1名採用	
	9			高度救命処置医療用資機材購入 (新規購入高規格救急車積載分)	
	10		津別署より高規格救急自動車 (H10購入)を美幌署へ移管 (10. 1)	全国共済農業協同組合連合会より 高規格救急自動車寄贈 消防ポンプ自動車CD-I型購入 (消防団)	
	11		高規格救急自動車購入(消防署) (11. 6)		
	12			高度救命処置訓練用シュミレーター購入	
21	4	消防団協力事業所表示制度 運用開始(4. 2)	消防団組織改革(4. 1) 副団長2名・団本部分団長制	機構改革 グループ制・当直隊3部制施行 (実施)	
	5		救急救命士1名採用		
	12	高機能消防指令システム導入 (12. 15)	(緊急通信指令業務の一元化及び部隊の共同運用開始) (12. 15)		
22	2		水槽付消防ポンプ自動車II型購入 (消防署)(2. 2) 宗教法人大和山美幌支部より広報 車寄贈(2. 20)		
	4		防火協会設立60周年記念式典 (4. 10)		
	5		救急救命士1名採用		
23	1		婦人防火クラブ創立30周年式典 (1. 30)		
	4		消防団分団再編(4. 1) (4分団制から3分団制)	救急救命士1名採用	
		3月11日発生の東日本大震災に よる緊急消防援助隊派遣 (宮城県石巻市へ第10次派遣救急隊2名)(4. 13~4. 19) ( " 第13次派遣消火隊5名)(4. 25~5. 1)			
			救急救命士2名採用	救急救命士1名採用	
	6			北見分会連合消防演習実施	
	7		救急救命士1名採用		
24	2		美幌消防100年記念事業実行委 員会設立(2. 6)		
	3			第4分団 解散	

年	月	消 防 本 部	美 幌 町 (署・団)	津 別 町 (署・団)
平 2 4	4			消防団分団 3分団制に再編 (第3・4分団統合) 消防団設置条例の改定 (消防団員定数115名)
	7		小型動力ポンプ購入 (水槽車車載用) (7. 8)	